

経営の原点と企業理念

当社にとって企業理念は「この会社は何のために存在しているのか」ということを示すものです。また企業理念は普遍で、北極星のように不動の座標であり、従業員にとっては自分が何か判断に迷ったときのよりどころであり、常にこうありたいと目指すものです。

ビジョンは時代・環境とともに変化し、未来につながるべき持続可能な社会を実現するために取り組むことを表したものです。

企業理念を目指すために行動指針があり、行動指針ののっとりビジョンに向かって突き進んでいくと「企業理念」に近づいていけると考えています。

人間尊重

経営の原点

創業者・出光佐三の言葉を本人の筆跡のままに掲げたものです。一世紀を超えて「人間尊重」を旨としてきた歴史の重さ、受け継いでいく思いの強さを内外に示す意図で、未来永劫変わることのない原点です。

真に働く

国・地域社会、そこに暮らす人々を想い、考えぬき、働きぬいているか。
日々自らを顧みて更なる成長を目指す。
かかる人が集い、一丸となって不可能を可能にする。

私たちは、高き理想と志を掲げ、挑み続ける。

「人が中心の経営」という、創業以来大切に続けてきた信念あるいは哲学を、「一人ひとりの従業員が日々心すべきこと」「会社として社会に提供する価値を約束すること」として捉え直したものです。

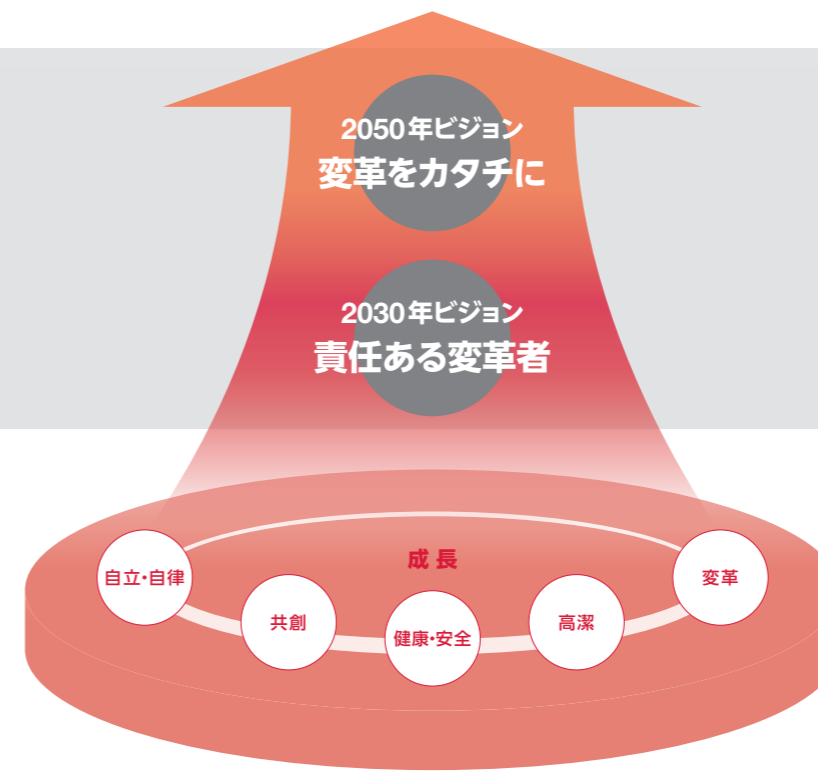
将来のある時点において、企業理念が実現した姿を意味します。事業を通じて実現していく目標像のことで、その企業にとっての「ありたい姿」でもあります。多くの場合、中長期の経営計画と連動します。企業理念は時代を超えて変わらないもの、ビジョンは時代の変化の中で変わっていくべきもの、といえます。

当社グループでは全従業員が持つべき心構えや、取るべき行動の礎となる「行動指針」を制定しています。人が持つ無限の可能性を信じて、常に高め合いながら成長することを軸に、「自立・自律」「共創」「健康・安全」「高潔」「変革」の5つの柱で構成しています。全従業員は企業理念、ビジョン、行動指針、各種方針の理解に努めるとともに、当社グループの一員であることに誇りを持ち、またその責任を自覚し、公正で透明性のある企業活動を実践します。

企業理念

ビジョン

行動指針



当社の歴史

~1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020~
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

■ 創業期

1892年に、新津恒吉が尼瀬（新潟県）で新津石油を創業して製油業を始め、1899年には、早山石油を興す早山与三郎が製油業を開始し、昭和シェル石油の前身となる両社は石油業の黎明期を生き抜きました。その後、戦時体制下で石油業界の統合が進められ、1942年に新津石油・早山石油・旭石油の三社が合併し昭和石油となりました。出光興産（以下出光と略記）の前身である出光商会は、1911年に北九州の門司（福岡県）で石油販売業の第一歩を踏み出しました。創業者の出光佐三は、「生産者から消費者へ」の方針を掲げ、創業当初は、日本国内で潤滑油（機械油）の販売や漁船向けの燃料販売に邁進し、その後満州、朝鮮、中国、台湾にも販路を拡大しました。



出光商会創業時の本店初荷

■ 復興期

1945年の敗戦により出光はほぼ全ての事業と在外資産を失うものの、「人を資本に」して戦後の再スタートを切りました。オイルメジャーに利権を占有されていたイランが石油の国有化宣言をすると、出光は1953年に日章丸を派遣してこれを輸入。オイルメジャーとの裁判に発展しましたがこれに勝訴し、敗戦で自信を喪失していた日本人に大いなる活力を与えました（日章丸事件）。



日章丸事件

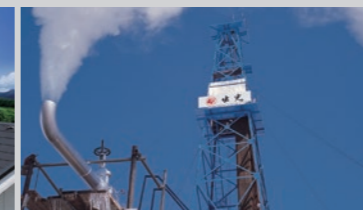
■ 石油危機後

石油危機を契機に、総合エネルギー企業への進化を目指し、石油に替わる新エネルギーの開発として再生可能エネルギーの調査を実施。

1978年には昭和石油で太陽電池研究を開始、1979年には出光で地熱の探査に着手しました。これらはその後、昭和シェル石油の太陽電池の技術や、出光の滝上（大分県）での地熱発電の営業運転開始など、電力・再生可能エネルギービジネスへとつながっていきます。



太陽電池の研究



地熱発電

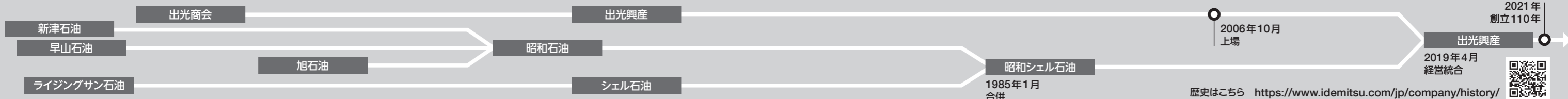
■ 経営統合とこれから

2019年には強固な経営基盤を築くとともに、世界的視野での成長を目指し、出光興産と昭和シェル石油は経営統合しました。2021年に、出光興産は創立110周年を迎えました。

今後もエネルギー・素材の安定供給という使命を果たし、2050年のカーボンニュートラル（CN）・循環型社会における、エネルギーとCNソリューションのメインプレーヤーとなるべく、「変革をカタチに」していきます。



apollostation



歴史はこちら <https://www.idemitsu.com/jp/company/history/>

